

人材派遣型と連携した 新施設イコウエルすみたの活性化

住田町役場企画財政課

■住田町について

- ・岩手県の沿岸南部に位置
- ・山に囲まれた4,906人(R4年12月末)の町
- ・町の9割が森林、県内有数の林業地帯。
- ・主幹産業は主に林業、農業、畜産業

■住田町の魅力～木と暮らす町

木の町だからこそできた木材を積極的に
公共施設への活用



住田町役場



消防署

当町独自の木造一戸建ての応急仮設住宅

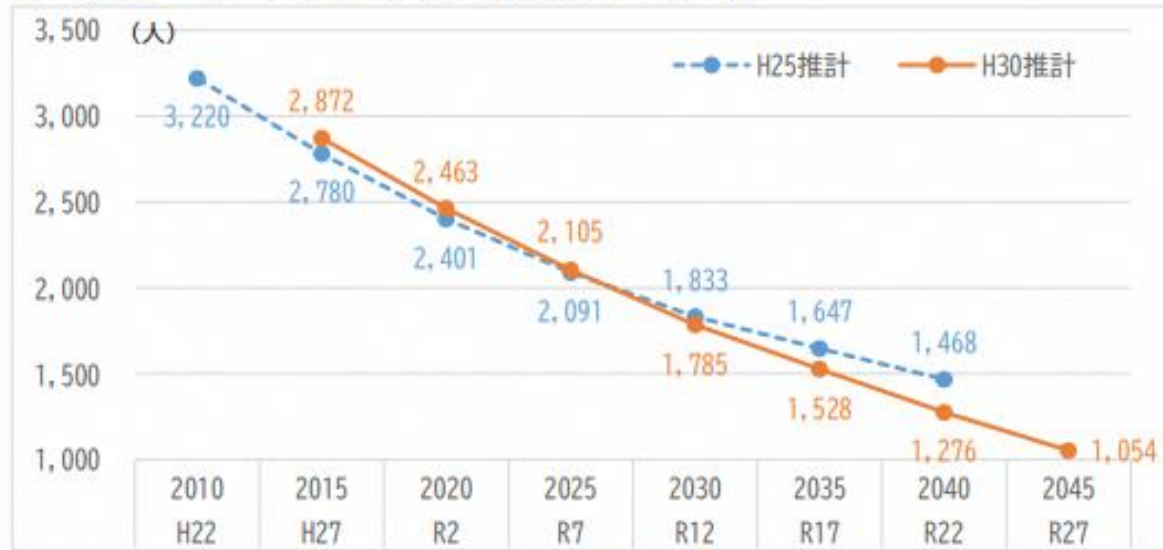


■アクセス

- ・東京駅 — 水沢江刺駅（東北新幹線約 2 時間30分）
水沢江刺駅 — 住田町（車で約50分）
- ・いわて花巻空港 — 住田町（車で約 1 時間）
- ・盛岡駅 — 住田町（車で約 1 時間30分）

■課題

生産年齢人口は、令和 7 年(2025 年)までは H25 推計を上回っていますが、令和 12 年(2030 年)から下回り、減少は加速しています。



住田町総合計画より抜粋

少子高齢化

2040年の人口目標4,000人として各種施策に取り組んできているが、町の人口はこれを上回るペースで減少を続けている

現時点の高齢化率47.1%（令和 5 年 1 月末）

生産人口の減少

人口減少により生産人口も大きく減少。若者人口の減少が進行し、担い手不足と高齢化が深刻。税収や地域経済半減のリスクも

■住田町住民からの意見

◆ポジティブ

- ・ 自然ゆたかなところが好き
- ・ 安心して生活できる
- ・ ふれあいや連帯感がある

◆ネガティブ

- ・ 働きたいと思える仕事が少ない（働き手のニーズとマッチしていない）
- ・ 買い物が不便、店が少ない
- ・ 若者が残りたいというまちづくりが必要

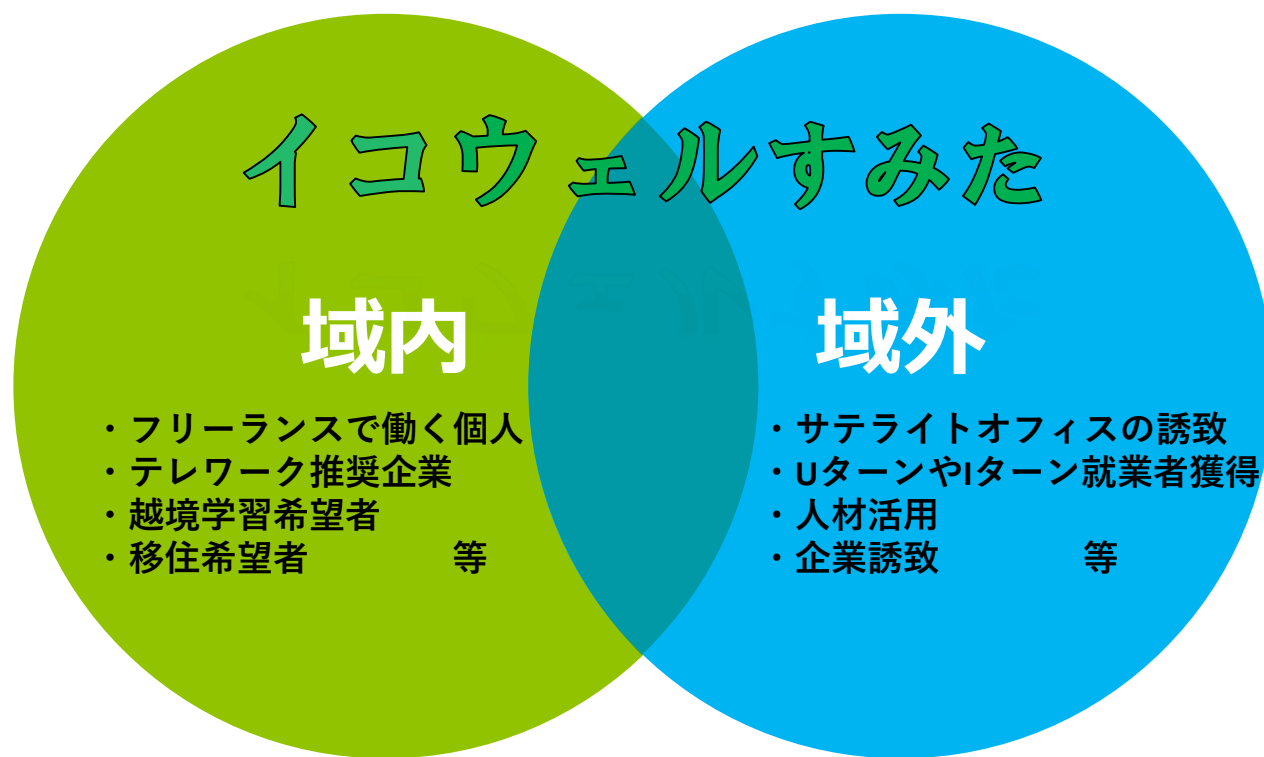
住田町住民満足度アンケートより抜粋

■取組

仕事・学びの場創出事業

・内陸と沿岸の中間地に位置する利便性や都市部と同程度のインターネット回線が利用できる環境などを活かし、ラーニングワーケーションやサテライトオフィス、コワーキングといった、多様な働き方を受入れる取組みを進めます。

・UターンやIターンの就業者を獲得するため、町内の事業所の魅力や働きがいなどを発信する取組みを進めます。



イコウェルすみた

住田町仕事と学び複合施設

仮設住宅を中心とした記録と記憶の継承

×

新しい働き方へのチャレンジを応援

×

企業からの人材派遣（企業版ふるさと納税）



東日本大震災時に、住田町は木造一戸建ての仮設住宅を建設し、多くの被災者の方々に利用いただきました。

2020年に最後の入居者が退去されその役目を終えましたが、仮設住宅を取り巻く後方支援等を記録として残すため仮設住宅を1棟整備するほか、仮設住宅の部材をリユースし、リモートワークやオンラインを活用した研修施設や宿泊体験できる施設を整備します。

- ・ 仮設団地跡地の活用及び、仮設住宅の部材を可能な限り利活用し、震災の記録と記憶を継承
- ・ リモートワークを活用した新しい働き方を町内に浸透させ、イコウェルすみたを町外人材の活動拠点とする
- ・ オンライン環境を積極的に活用した講座を開催し町内の若者を中心とした世代に新たな学びの場を提供
- ・ お試し居住施設を活用し移住者×町民の関わる機会を創出
- ・ 町外人材×町内人材のマッチングイベントの開催
- ・ 若者世代の定住率の向上を目指す



- 東日本大震災の際に建設した仮設住宅の部材を約50%再利用
- 防災や災害支援を学ぶ機会の提供
- 充実した通信環境のもと、リモートワークを中心としたサテライトオフィスとしての提案
- 様々な人たちとのつながりによる町の活性化への取組

イコウェルすみた

住田町仕事と学び複合施設

本施設は令和3年度から企業版ふるさと納税を募集し、複数の企業様から計160万円の寄付をいただきました

問合せ先：住田町企画財政課

政策推進係 ☎：46-2114

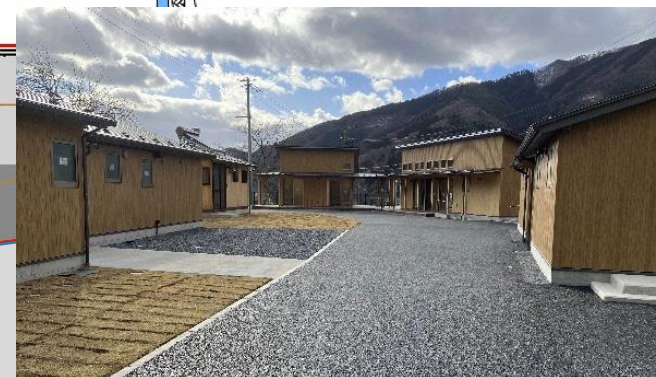
★共用棟

ワーキングスペースとしてパソコンを使って、仕事ができたり、オンラインで遠隔地とつながって講座を開催します。
勉強スペースにも利用可。



★オフィス棟（大、小）

町外の人たちがサテライトオフィスとしても利用可能だったり、町内の人たちも会議や勉強、仕事をするスペースとしても利用可。



② 奥からの全景

★滞在体験棟（大、小）

町外の人たちに住田を知ってもらうために、お試しで暮らしてもらう一時的な住居。
利用しながら、町内で仕事をする人も想定。

※短期の場合は町内の宿泊施設を紹介

★展示棟

木造仮設住宅を一戸再現
跡地の活用と内部に震災時の後方支援などの記録を展示。



① 正面入り口



イコウェルすみたの運用・利用イメージと皆様のお力をお借りしたい部分



首都圏等の町外人材に対して、イコウェルすみたへの誘致・誘客を図る営業業務



イコウェルすみたの運営を担ってくださる人材を求めています



イコウェルすみたで企業の強みも活かしつつ、町内外を対象としたイベントや講座の企画・実施業務

プロジェクト名：人材派遣型と連携した新施設イコウェルすみたの活性化事業

関連 SDG s ゴール



プロジェクトイメージ

概要

東日本大震災で使用した仮設住宅跡地に部材の一部を活用してコワーキングスペース等を整備した複合施設を開設します。首都圏等の町外企業によるサテライトオフィスへの誘致や、施設でのデジタル技術を活用したプログラミング講座・イベント開催等を行い、企業と町民とのマッチングを積極的に推進し、施設の稼働率の向上を図ることで、将来的に町の人口減少、町民の定住率向上を図ります。

岩手県住田町

(特徴)

若者の町外への流出や人口減少が課題となっており、施設の稼働で歯止めをかけたいが、人材確保に至っていない

プロジェクト実施



イコウェルすみた (住田町仕事と学び複合施設)

人材派遣（寄附）

寄付企業



【メリット】

- ・SDGsに貢献できる
- ・行政機関との連携事例が作れる
- ・運営を通じて様々な企業とのつながりが生まれる
- ・地域課題に直結した事業に関わり新しいビジネスチャンスにつながる

【メリット】

- ・移住定住、産業活性化
- ・町の学生/若者世代と首都圏の多様な人材が仕事/学びを通じてつながることにより、新たな取り組みが生まれる
- ・企業側の人材派遣を受けることで、企業側目線を取り入れた事業構築ができる
- ・デジタル分野など、専門性を活かしたイベントや講座の実施を行うことができる

住民



地元企業



利用

参加

参加

利用

参加

利用企業等 外部人材



- ・コワーキングスペースやサテライトオフィスの利用に積極的な企業
- ・震災等、防災を含めた人材育成を支援している企業

稼働率の向上
定住率の向上

イコウェルすみたで企業の強みも活かしつつ
地域貢献や地域での新しいビジネスチャンスを検討してみませんか？
ご連絡お待ちしております

お問い合わせ

- 住田町役場企画財政課 政策推進係長 関口 隆
- 〒029-2396 岩手県気仙郡住田町世田米字川向88-1
- tel: 0192-46-2114
- e-mail: t-sekiguchi@town.sumita.iwate.jp